

1学年だより

令和3年11月19日(金)

# 夢の宅配便

1年学年主任

水野 喜代治

## 月 食

子どもの頃は、夜空に光る月を見ても、「まん丸でお盆のようだ。」とか「月がおせんべいだったら。」など考えて心に留まることはあまりありませんでした。しかし、この年になって、月を見ると幽玄な月明かりの中にロマンが広がります。

平安時代の人々は、こよなく月を愛しました。夜は、真っ暗で闇の世界と思ってる人も多いですが、月明かりは、太陽とは比較はできませんが、人の影も映し出し、本も読めるぐらいの明るさをもたらします。

現代は、街灯もあって夜も昼間のような明るさを照らしていますが、実は夜には月明かりがあって、真っ暗な闇ではないのです。特に満月の日は、月の光が、人に影法師さえつけてくれます。昔の人は、月明かりの中、夜を楽しんだのです。太陽より弱い月明かりは、映し出すものを昼間とは異なったものにします。昼間見る山肌と夜の月明かりの中で見る山肌では、同じ山でも印象が異なります。人も花も湖もすべてが昼間のものとは異なったものにして浮き上がらせます。淡い月明かりは、すべてのものを和らかく優しくして見せます。月明かりが持つ魔力です。

人々は、月に願いを込めて月を眺めました。欠けたることがない満月の満たされた光に願いを込めたのです。

今日は、満月です。欠けたところがない望月の光を感じて欲しいです。この時期、城山中学校の最終下校時間は16時半です。学校を出て、少しすると夜空に大きな月が輝きます。ちょっと意識して、天空を見上げて見てください。神秘的な輝きを感じると思います。しかも、本日は月食です。満月が欠けていきます。月明かりが失われていく天空のドラマを楽しんで見てください。現代人は、月明かりの文化を忘れて、夜も電灯の明るさの中で生活しています。平安時代の人々なら、満月が欠ける今日の月食を一大事として受け止めたと思います。そんな昔の人の気持ちになって、今日の月を見てください。16時30分頃から月が欠け、月のほとんどが欠けて月明かりがなくなるのが18時頃、そして、20時頃にまた月の光を取り戻して満月になります。光を取り戻して再び輝いた月に願いをかけるのも良いですね。

私は、大好きな竹取物語の話を重ねて、月食を見たいと思います。

キヨたんの詩

望月に

叶ぬ願い

重なる

秋夜

